

2023.05.21. 靈的未熟の治癒

第一ヨハネ 2章 12節から 14節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 天のお父様、主よ、この時、集まることができ感謝します。第一礼拝で祈ったように、これは大切です。これは、私たちが主にあって生きる大切な時間です。この私たちが集う時間がとても大切です。私たちが聞き、受け取れるようお助けください。主よ、私たちが集いあなたの御言葉を受け取れるこの場所に感謝します。JD 牧師があなたのメッセージを届けます。あなたがされる全てのことの大変感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。でも、すぐにお立ちいただきますので、お任せします。「第一ヨハネの手紙 2章」、私たちはこの手紙を節ごとに読み進めています。私たちはこの手紙を節ごとに読み進めています。今日の聖書箇所は、「第一ヨハネの手紙 2章」 12節から 14節です。お立ちいただいている方は、そのままでも、私の読むのについてきてください。座ったままでも結構です。ヨハネは聖霊によってこう語ります。12節、

**—1ヨハネ 2：12—**

子どもたち。私があなたがたに書いてているのは、イエスの名によって、あなたがたの罪が赦されたからです。

**—1ヨハネ 2：13—**

父たち。私があなたがたに書いてているのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。若者たち。私があなたがたに書いてているのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。

**—1ヨハネ 2：14—**

幼子たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが御父を知るようになったからです。父たち。私があなたがたに書いてきたのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。若者たち。私があなたがたに書いてきたのは、あなたがたが強い者であり、あなたがたのうちに神のことばがとどまり、悪い者に打ち勝ったからです。

読んで字の如しです。祈りで締めくくりましょうか？ いいえ、祈りましょう。でもまだ締めくくりの祈りではありません。

お父様、ありがとうございます。おお、主よ。すべての書は理由があって靈感を与えられ、時に私たちへの指導、時に正され、必要なら叱責されます。主よ、私たちは、今朝の私たち

の前の御言葉のこの箇所が、なぜ聖書にあるのか知りたいのです。これを聖書聖典に加えるレベルまで上げられ、あなたがヨハネを導き、書かせられた理由があられるはずです。

ですから、主よ。ヨハネは父たち、子どもたち、若者たちに向けて書いています。ヨハネが書いたことを通し、あなたにしかお出来になれないご方法で、今、私たちの人生に語ってくださいませんか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

今、どうぞ着席ください。ありがとうございます。今日は、いわば「靈的未熟さを治癒できる」についてをお話ししたいと思います。悲しいかな、こんにちの教会に多く見られます。私は今日、目の前にある箇所を決して無神経に教えたくないのをご理解ください。むしろ、私の願いは、それを同情して教えたいです。つまり、人類史のこの時に、靈的成熟がない人々への哀れみです。人類史の終わりのこの時、靈的未熟さは最も許されません。こんにち、靈的に未熟なままのクリスチヤンが最も容赦ない世に私たちは生きています。キーワード/～のままである このことを今から見ていきますけど、まだ成熟していない、キリストにある新生児、赤ちゃんのことではありません。生まれ変わった（新生した）クリスチヤンが、成熟していないという話です。謙虚に愛を込めて言います。靈的に未熟なままでは、時を逸すると言えます。さらに踏み込んで言えば、今は靈的に未熟なままでいるのが最悪の時期だとも言えます。今、私たちが生きているこの世、人類史の最後の時に。同情と哀れみがあります。これから見ていきますが、使徒ヨハネは、例のごとく、聖靈に導かれ、とても愛情深く、親切に、優しく書いています。真に成熟する過程についてを。そうすることで、私たちに靈的未熟なままの状態の治療法を提供します。この治療法は老いも若きも関わらず有効です。簡単に言うと、治療法は「神の御言葉」です。「聖書預言・アップデート」（第一礼拝）は「祈り」についてでした。で、今日の説教（第二礼拝）は、「神の御言葉」についてです。「祈り」と「神の御言葉」「神の御言葉」と「祈り」

では、祈りで締めくくりましょう。いやいや、まだです。まだ続きます。締めくくりはありますけど、まだです。さて、治療法といえば…これを聞いてください。これはとても重要です。サタンはあなたにこれを聞かせたくありませんよ。サタンはこれをあなたに絶対聞かせたくありません。一以上一

なぜなら、サタンはクリスチヤンを未熟なままにしておきたいからです。サタンが、クリスチヤンを未熟なままに出来れば捕らえられるからです。彼らは弱く、準備不足、装備不足。ですから、この件について、どうか最後まで私の話を聞いてほしいのです。靈的未熟さの治療法は、神の御言葉だと言っても、神の御言葉をただ聞けば良いではありません。神の御言葉を聞き入れる/心に留めることです。それは、聞き入れる/心に留めるだけでなく、実際に食べることです。いいえ、本当です。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる。」（マタイ4：4 参照）

どうすれば、いのちのパン/神の御言葉によって養われることなく、靈的に成長し、強く成熟できますか？　こんにちの教会の状態、無益で弱く、栄養失調の教会を見れば一目瞭然です。人々は飢えています。養われていません。ひいては成長もしない。成熟していません。どうしてそうなるのか？　いのちのパン/神の御言葉で養われていません。聞き入れるだけではダメなのです。私は怒っていません。もしかしたらそうかも。聞き入れる/心に留めるだけでなく、食べるのです。ただ、御言葉について知っている、だけでなく　「知る」のです。こんにち多くの説教者、多くの牧師が、遺憾ながら、聖書についてを語っても、聖書を教えていません。

「おお～、ちょ～っとだけ参考します～今日の聖書の朗読からね～。」

綿菓子クリスチャンと呼びます。強くそう言うのをお許しください。それについて知っている、でなく、「知る」ことです。それ以上でさえあります。それを生き、それに留まり、それを黙想し、それを咀嚼するのです。神の御言葉を黙想する、という意味は、特に、朝食を済ませているなら、気分を悪くさせるつもりはありません。ここでベストを尽くします。

5つの胃袋を持つ牛のようなイメージです。時に、自分が牛のような気がしますけど。（体、腹周りのサイズから）再度、気持ち悪くさせるつもりはありませんが、どうか聞いてください。好む好まざるにかかわらず事実なので。それから、皆さんに分かち合ったあと、召し上がれ。牛は食べ、噛み、飲み込み、吐き戻し、さらに噛み碎いて、飲み込み、また吐き出し、さらに噛み碎いて、吐き出し、噛み碎き....繰り返します。神の御言葉を黙想するとは、そういう意味です。御言葉を食べ、消化する。それが御言葉の中に生きること、あなたの中で御言葉が生きること。なぜなら、神の御言葉は生きているからです。生きている御言葉です。それは活発で、どんな両刃の剣よりも鋭く、関節と骨髄、魂と靈に外科的に刺し貫きます。

（ヘブル 4：12 参照）

神の御言葉は有益で、精密で、神はその箇所を正確にご存知です。主は「それは取り除かねば」と仰り、刺し貫かれます。それが神の御言葉です。ここでヨハネが言及するのは、このことで、彼は愛を込めて、私たちの靈的成熟の段階を言及します。私たちは、それを「主にあって生まれたばかりの赤ちゃん」に例えます。私たちは、神の御靈へ生まれ変わり、私たちは、キリストによって新生されました。そして、成長し成熟するにつれて、這うようになります。主と共に歩むようになります。そして、私たちはもっと成長し、成熟し、レースさえも走るようになります。私たちは主によって新生し、乳幼児、子ども、若者の男女、大人となります。これが靈的成长の段階で、肉体の領域と同様、靈的領域でも同じです。それでは、まず12節から

始めましょう。私がしたことを、気に入って欲しいんですけど、一応整理して、ミルク、パン、肉、マナで参照します。お～ええ、マナバーガーです。何を言っているかわかります？見ていてください。12節、「新生児のためのミルク」ヨハネが語り始めるのは、すべての始まりです。それは、キリストによって新生された赤ちゃんです。罪が許されたので、聖靈によって、生まれ変わりました。これがキリストにあって新しいいのちの始まりです。肉体のように新生児は母乳が必要です。新生クリスチャンも同様です。生まれ変わったクリスチャンは神の御言葉というミルクが必要です。まだ歯が生えていません。親御さんには、子どもの歯が生える時、楽しい時間ではありません。痛みです。私はそれを思うとまだ痛みがあります。第一礼拝で話しましたが、長男が生まれた時、私たちは決して眠れませんでした。それ以降、寝てません。一（笑）一 しかし、靈的な意味でも同じで、キリストによって新生すると、実際できることはミルクにたよるだけで、努力ではありませんよ。理由は、ヨハネが大変注意深く言うのが、「彼らの罪はイエスの御名によって赦された。」

主がされたことで、新生児の努力ではありません。考えてみてください。新生児は何を持って生まれてきますか？ 何もありません。彼らは自分が生まれたことすら知らない。実際、彼らが気づくのは5歳くらいです。「待てよ。自分は人だ。」自分の誕生について何もできません。もし可能なら、彼らはおそらく私たちを親として選ばなかつたでしょうから。真実を明かせば。そう、靈的な意味でも同じです。彼らは何も持ってきません。新生児は新生するのに何も持ってきません。新生とは、唯一イエスが既にされたことが根拠です。新生児が何をするかではなく。これが重要なのはなぜか？ なぜなら…聞いてください。「根っこ」の部分から始めないと、「実」の成長にも支障をきたします。思い出してください。イエスが「ある者は多くの実を結ぶ」という話をされたとき、

ある者は100倍、あるものは50倍、ある者は10倍の実になりました。（[マタイ13：8、マルコ4：20](#)参照）

そして、ある者は何もなりません。でも、彼らは救われています。生まれ変わりましたが、決して成長しません。彼らは決して成熟しません。実を結ぶことはありません。これを見てください。reproduce(再生産する/生殖する) re/再び produce/生み出す

靈的成熟の究極の証拠は、靈的な意味での生殖の能力を肉體的な意味と同様に發揮することです。あなたが、生殖/生み出せるようになるまでには、ある年齢に達せねばなりません。言わば、子孫を。この靈的な意味でもそうなのです。靈的に決して成熟しない未熟なクリスチヤンがいるなら、彼らは決して、生殖/生み出しません。「実」がなりません。「実」がならないって、なぜ？ 根っこが良くなかったからです。どうやって実になりますか？ 次に進む前に、これについて簡単に説明し、解説します。あなたがキリストに辿り着くと、それとい

うのは、十分な言葉もなく、控えめな表現ですけど、早い段階で神の御言葉に根付くことが非常に重要です。なぜなら、根っこがないと、どんな「実」の成長にも影響し、あなたのいのちの「実」は育ちません。私は具体的に、聖霊の実（単数形）を話しています。「ガラテヤ人への手紙5章」で、聖霊の実についてをパウロが書くことに留意ください。パウロは、聖霊の実（複数形）とは言いません。聖霊の実（単数形）です。それは何か？「愛」です！「愛」互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。（ヨハネ13：35参照）

あなたが真にイエスによって新生したかイエスに従う者か「実」を見ればわかるからです。

「実」を見てください。何の木？ その木になる「実」を見れば分かります。なんか意地悪でしたけど、なぜなら、りんごの木… もし、それがマンゴーの木なら…私はこの辺りの出身ではないので、ここで気をつけねばなりません。マンゴーの木なら、差し障りないですよね？ マンゴーの木はいいですか？ 良かった。パパイヤにしましようか？ マンゴーのままでいい？ じゃあ、マンゴーでいきます。ここにマンゴーの木があります。あなたがそれを見て、「お～、マンゴーの木だ。」どうしてわかるの？ その木にマンゴーがなっているから。マンゴーの木にはりんごはありません。もしあれば、おそらく誰かがそこにりんごを吊るしてからかったのでしょう。それは本物ではありません。皆さん、、、話が逸れていますよね。大丈夫。戻りますから、ご心配なく。私の賜物なのです。プラスチックの果物って大変リアルに作っています。10フィート（3m）離れて見るとよだれが出だします。10フィート：10フッターと私は呼びます。その果物を見ると。「ほお～」近づいてみると…「お、はあ～、プラスチックじゃない。」バカにされた気分です。本物でさえない。分かります？ 分かってほしいです。これが私の最高の例えです。「実」は「根っこ」から生じます。まずは「根っこ」が正しくないと、「実」が熟しません。パンの話への準備はいいですか？ 私はできます。炭水化物たっぷり。でも、聖なる炭水化物です。13節、「子どものためのパン」乳児にはミルクが要ります。子どもにはパンが要ります。ヨハネはこの一節だけで、すべての段階に挑み、取り組みます。ヨハネはこの一節だけで、すべての段階に挑み、取り組みます。実は、この繰り返しに気づきましたか？ ヨハネは、次の節でもほぼ同じことを繰り返しますが、ひとつだけ違う点があります。何が違うのか？ そう、ヨハネが12節で「子どもたち」に使っている単語は、ギリシャ語で「新生児」「乳幼児」を意味する語彙です。しかし、ここ13節では、彼が使っている「子ども」という語彙は、乳幼児ではありません。それは、「小児」「小さな子ども」、または、より理解すれば、「成長した生徒」で、もはや新生児ではありません。キリストにある乳幼児から子どもへ、新生児から神の子どもになりました。私たちは、今ここで成長しています。私たちはここで成熟しています。ここで成長しています。で

は、どのようにしてこの新生児は成長し、学ぶ生徒となり得たのか？「神の御言葉」「御言葉の神」です。今からすぐ見ていますが、留意すべきは、聖霊の導きによってヨハネが言及する事は、神の御言葉があなたの内に留まっている事。つまり、私たちが御言葉に入り込むと、御言葉が私たちに入り込むのです。御言葉が私たちの中に入り込むとどんな効果があるのか？おお、それは私たちを成長させます。そして、強くします。それを次の「若者」で見ていきましょう。彼らは強いです。そう、若者にさせよう。私はとうに過ぎましたから。気にしないでください。それが、マナまで話がいく理由ですよ。あなたは肉を食べれますよ。「牛肉はどこ？」それは若者に。でも、ここで私たちはまだ子どもたち用の「パン」です。「いのちのパン」です。「おお、今から固形食なのですね？」はい。なぜなら、あなたは成長し、成熟して、ミルクだけの段階は過ぎましたから。それが、14節に繋がります。「肉」です。「若者のための肉」ここでヨハネは角を曲がり、14節、私たちの靈的成熟の「何」から、私たちの靈的成熟の「方法」、すなわち、私たちの中にある神の御言葉により「成熟し、強くなること」私たちの中に生きている生きた御言葉です。そうすると、神の御言葉からの靈的成熟と靈的強さが、悪に打ち勝つ力を与えます。わかりましたか？

「ですから、若者よ、私は若者のあなたがたに書きます。聞きなさい、若者よ。聞きなさい。神の御言葉の肉が、あなたがたの中に生き、あなたがたを強くし、栄養を与え、パワーを与え、そうすると、悪に打ち勝てます。ところで、若者よ、邪惡なものに打ち勝たねばなりません。」

ダビデはこのように言いました。どのようにして若い人は自分の道を清く保つことができるでしょうか。（詩篇119：9参照）

留意ください。彼はこう言いません。「どのようにして老いた人は自分の道を清く保つことができるでしょうか。」はい、なぜなら、老人はこう言います。「疲れすぎてる。（笑）若者は活気に満ち溢れている。」どのようにして若い人は自分の道を清く保つことができるでしょうか。（詩篇119：9参照）

神の御言葉です。その御言葉をダビデは言いました。

### 一 詩篇119：11一

私はあなたのみことばを心に蓄えます。あなたの前に罪ある者とならないために。聖書は罪からあなたを遠ざける。

罪はあなたを聖書から遠ざける。と言います。これが理由で、聖書預言・アップデートで話しました。「祈り」と「神の御言葉」もう一度言います。「祈り」と「神の御言葉」

もし今日、私の言うことを何も聞いてないなら、これを聞いてください。「祈り」と「神の御言葉」ですから、その2つはセットです。神の御言葉こそが、唯一の攻撃的武器で私たちの靈的武具の「御靈の剣」です。良く見逃されることは、これはもうひとつの悪魔の戦術、悪魔の策略だと思います。この表現、欽定訳の単語が好きです。私たちは強調しちゃいますね。

「靈の武具、神の全武具を身に纏いなさい。」あえて言うなら、私たち一人ひとりが、その比喩的な「武具」のすべての箇所を記憶しているでしょう。

足には平和の福音の備えをはきなさい。 (エペソ6：11)

(思い/思考を守るため) 救いのかぶとを被り、 (エペソ6：17参照)

(心を守るため) 胸には正義の胸当てを着け、 (エペソ6：14参照)

「真理の帯」が全てをつなぎまとめているのですよ。

これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。 (エペソ6：16参照)

それをしっかりとさねはぎで固定する。武具の他の部分に比べると、より重要ではありませんが、これらすべての上に、信仰の盾を取り、それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。 (当時の戦いでは) (エペソ6：16参照)

そして、もう1つあります。たった1つですよ。おお、ところで、背中には「武具」がありません。後ろを向いて逃げないでください。死にます。死にます。いいえ、立つのです。そのすべてを持って、立つのです。もう1つ武器があります。「武具」ではありません。それは、剣ですよ～。 (ひゅ～んと取り出す) それが「神の御言葉」です。これは、イエスが敵を負かすために使われました。主は敵を打ち負かしました。そう、クリスチャンが膝をついて祈ると、クリスチャンが神の御言葉に触れると、悪魔は走って逃げます。悪魔に抵抗すれば、悪魔は逃げる。悪魔は我慢できません。なぜ？なぜなら、クリスチャンが祈った瞬間に、悪魔はおしまいです。それが決め手です。「祈り」と「神の御言葉」だから「祈り」と「神の御言葉」を読むのは難しいのです。私、正しいです？ (会衆：正しいです。)

OK。例えば、例えが必要そうなので。こうする時、私は誰も見ません。OK。下を見ます。

OK。あなたは疲れています。でしょ？ 家に帰り、長い1日でした。わお...なんて日なんだ。こんな日は、ベッドに戻ってもう一度やり直したいと思いますよね？ そんな日があります。それで、椅子にドスンと座ると、リモコンがあって、それがあなたに話しかけてきます。あなたの言語で、あなたの名前を。「JD、長い日でしたね。」ええ。。。 「いらっしゃ～い。」OK。ちょっと待って。この同じテーブルの端に私の聖書があります。それが語りかけようとしています。「JD、長い1日でしたね。」はい。「あなたはわたしが必要です。あなたはわたしが必要です。」ここで葛藤です。ここに戦いです。戦いですそれはなぜだと思いませんか？なぜなのか？もう少しだけ踏み込みましょう。神の御言葉を読もうとする時

そうなるのはなぜか？ どこからともなく、眠気が襲ってきて、目蓋の重さに、、、もう耐えきれない。たった5秒前にリモコンを見ていたのに。ここでどうなってるの？ おお、頼むわ～。ここでどうなってるかわかりますね？ サタンは、あなたが聖書にいくのを望みません。なぜなら、あなたがそうすれば、サタンはおしまいだからです。サタンはそれを知っています。サタンはあなたに知られたくありません。「神の御言葉」と「祈り」同じことです。気付いています？ あなたが祈り始める時、文字通り、地獄の幕開けでは？ それは何だと思いますか？ サタンは、クリスチャンが祈り始めると、自分が死んだ肉になるのを知っています。ダジャレではありませんよ。それがサタン、敗北した敵です。おお、勝利はすでに私たちのものです。そう、祈りは、、、戦いは、祈りでは勝てません。祈りは戦利品を手に入れる事。祈りは、最後の.... あ～、何という単語でしたっけ？ 午後2時なると思い出でしょから掲示しておきます。分かりませんけど。私たちが祈ると、これはすでに決まっています。「神の御言葉」と「祈り」です。それが、御言葉を読むことと、祈ることがとても大変な理由です。おお、きっとあなたは、祈りのリストを祈り始めます。私はとても几帳面に細かいリストをつけています。そうしないと、ほら、思いが彷徨うので。ところで、これは、、、臨床名があるのでしょうが、信号待ちの車の中で大声で祈ります。人々は「この人おかしい。」と思います。はいそうです。イエスの御名によって。でも、なぜ大声？ 2つの理由があります。1つ目、サタンはあなたの思いが読めない。

しかし、悪霊はあなたの祈りを聞けます。ですから、私は大声で祈ります。キーワード：大声で 皆さん、聞こえましたか？ 私はいつも「イエス」「イエス」の御名を使います。

### 一 使徒の働き 4：12 ー

天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。

イエスの御名。お～、サタンはその御名が大嫌いです。サタンは「神」は大丈夫です。それは一般的で、あいまいです。どの神？どの神かはっきりしない。「神？ 大丈夫。」でも、あなたがイエスの御名を唱えるやいなや... おっお～ですから、私はイエスを褒め称えます。イエスを、イエスを褒め称えます。イエスよ、愛しています。イエスよ、感謝します。イエスに全ての栄光あれ！ 「御名の栄光を主に帰せよ。」（詩篇29：2参照）

イエスよ、「だれがあなたのような方がいるでしょうか。」（出エジプト記15：11参考）

悪魔は、既に逃げていきます。祈りたいときや、神の御言葉を読みたいときは、そうせねばならないこともあります。ところで、牧師として御言葉を読むことも必要です。ー (笑) ー告白の時間ですね。罪の示しです。これは本当です。昔、祈りました。「御言葉の人になりたいです。」神がこんな感じで、「本当にその祈りに応えてほしいのですか？ あなたは何を願っ

たのか分かっていますか？」「はい。私は御言葉の人になりたいです。」「なら、わたしはあなたを牧師にします。あなたはそうならねばなりません。ははは。」

それが牧師になった理由かもしれません。わかりません。それが私の話で拘りで、それが、神が私を御言葉に引き留める唯一の方法です。それは.....簡単だったら、私たちはみんな御言葉にいるはずでしょ？でも、あなたは...私は薦めないけど、ダメなら、何であっても、それは、あなたの問題ですから。自分自身に自分の問題について話します。私は、寝転がって聖書を読みません。私は寝てしまいます。不眠症の特効薬として最適ですよ。聖書を読み始める。眠れない？読んでください。間違いなくサタンが、

「おい、止めろ。止めろ。止めろ。彼は聖書を読んでる。止めろ。聖書を読ませないぞ。私のことだ。彼が読んでいる箇所は、私のことだ。敗北した敵だって。」彼は....(いびきをかき出す)寝てしまう。

祈りも同じです。クリスチャンが祈りにのめり込んで、祈りで道を下っていくようなら、敵は戦略を変えてくるでしょう。あなたが祈るので、敵はあなたが祈れないように仕向けました。しかし、あなたは彼に抵抗し、祈っています。さて、敵はどうするのか？敵は、間違い電話を鳴らしてみる。（警報音）いつも間違い電話です。でしょ？祈ろうとすると。電話が鳴ることなんてないのに。電話を鳴らしたいなら？祈ろうとすると電話が鳴ります。誰かが玄関に来たり、メールが来たり、もちろん、今は時代遅れですけど、つまり、何通もメールが来て、受信箱にどんどんたまります。それはどこから來るのか？祈ろうとする5分前、私の受信箱は空っぽだったのに。「祈ろう！」すると、ドーンメールほしいですか？祈ってください。メールが来ます。スパムメールです。全部迷惑メールです。OK。そこまでいって、それを乗り越え、今、あなたは祈っています。敵はこうです。

「よし、即、彼の思考を揺さぶろうぜ。」敵は、あなたの思いは読めませんが、あなたの思考に考えを置けます。だから私たちは、すべての思考/思いをキリストへの従順へ完全に注意を向けねばなりません。理由は、サタンは思考に考えを置きます。

「ねえ、JD、\_\_\_\_\_をどうするつもりだ？」皆さん空白を埋めてください。

あ！今、祈りに集中すべきなのに、かわいい決まり文句ですけど、違います。ここで今、私は祈っています。突然、こんな感じで...

「あ！あれ忘れてた！どうしよう？」ボーン。私の祈りは完璧に脱線です。サタンが勝ちました。勝ちました。これがポイントです。信じようが信じまいが、ポイントはあります。御言葉に入ることも、御言葉に留まることも、とても難しい理由は、祈ることも、祈りにとどまることも、とても難しい理由は、敵はクリスチャンが一旦そうなれば、自分が敗北するのを知っているからです。サタンは、すでに敗北しています。しかし、私たちが祈る時、御言葉の中に

いる時、サタンの運命を封印します。それが私の求めていた答えです。私たちは勝利を確定します。私たちは、すでに勝ち取った勝利の戦利品を手にします。「第一コリント人への手紙3章」、最初の2節に注目ください。これは.... ああ... こう言う以外、どう言えばいいかわかりません。

### 「日の下に新しいものは一つもない」（伝道者の書1：9参照）

明らかに、これは教会の始まりから続いています。初代教会で、キリストにある幼子が成長することはありませんでした。彼らはまだミルクでした。パウロが書くことを聞いてください。第一コリント3章1節、パウロが語ります。

#### 一コリント3：1ー

兄弟たち。私はあなたがたに、御靈に属する人に対するように語ることができずに、肉に属する人、キリストにある幼子に対するように語りました。

#### 一コリント3：2ー

私はあなたがたには乳を飲ませ、固い食物(肉)を与えませんでした。あなたがたには、まだ無理だったからです。実は、今でもまだ無理なのです。

今や、あなた方は肉を食べるべきなのに、でも食べられません。まだミルクです。全く成熟していません。「ヘブル人への手紙」の著者は、さらにそれに踏み込みます。5章11節から、

#### 一ヘブル5：11ー

このメルキゼデクについて、私たちには話すことがたくさんありますが、説き明かすことは困難です。あなたがたが、聞くことに対して鈍くなっているからです。

#### 一ヘブル5：12ー

あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神が告げたことばの初步を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

言い換えると、あなたはまだミルクなんです！！ あなたは、まだ神の御言葉のミルクを飲んでいます。今や、あなたは肉のみならず、固い食べ物を食べるべきで、あなたはひつじに餌を与え、教え、養うべきなのに。そうではなく、あなたがたはまだミルクが必要です。

#### 一ヘブル5：13ー

乳を飲んでいる者はみな、(注目) 義の教えに通じてはいません。幼子なのです。

欽定訳が大好きです。「わお、なんて幼子なんだ！」ではなく、全く違います。

「あなたがたはまだ大きな赤ちゃんです。大きな赤ちゃん。成長しなさい。」 どういう意味ですか？ おお、そう、

## 一 ヘブル 5：14 一

固い食物（肉）は、[これが大切です]善と悪を見分ける感覚を経験によって訓練された大人のものです。

ヨハネは今、若者たちに何を書いたか？

## 一 ヨハネ 2：14 一

あなたがたが強い者であり、あなたがたのうちに神のことばがとどまり、悪い者に打ち勝ったからです。

なぜ、あなたはそんなに弱いのか？ なぜなら、少なくとも1週間は御言葉に触れていないから。なぜそうなのですか？ 言葉遊びです。皆さん分かりますね？ 分かったと言ってください。なぜあなたはそんなに弱い/W-E-A-K？（御言葉に触れていないのが）1週間/W-E-E-K以上経つから。きっと合ってますよね？ あなたは私を見て、「合ってます？」はい、そう思います。ここでは、スペル確認できませんからね。1週間/One week、御言葉がなければ、人は弱くなる/One weak。どうやって立つんです？ どうやって強くなるのですか？ あなた自身の力ではなく神の御力によって。「ピリピ人への手紙」でパウロが書くように、

## 一 ピリピ 4：13 一

私を強くしてくださる方「キリスト」によって、私はどんなことでもできるのです。

キリストの御言葉です。最強のクリスチヤンは、みことばを食べるクリスチヤンです。そうです。（苦笑）使う例えは、、、言ったからには、するしかないですね？ つまり、しっかり食べようという話ですよ。私たちは食べるんです。私の文化で、中東の文化では、古代の中東の文化でも、こんにちでも、前に置かれたものすべて食べねばなりません。さもなくば、料理を作った人が侮辱されることになります。それが…それが…それが理由で…再度、それが、私の話で拘りです。いや、実はそこに文化的な力強さがあります。聖書の中にその箇所を見つけてれますよ。「共に食す」OK。さっと。もちろん、もちろん。ご存知「箴言」です。「箴言」を通して、学びをしていた時、興味深くて、ほとんどユーモアですが、本当にユーモアでした。もちろん、私は全てにユーモアを見ますけど、

「争い好きな女と家でプライムリブを食べるより、屋上の片隅でパンくずを食べる方が良い。」（箴言 21:9 参照）

女性の方、どうか今は、ちょっとお付き合いください。待ってくださいね。そういう感じで始まるのです。屋上に行った方がいい。それで、この可哀想な男は、後に「箴言」に書かれているのが、争い好きで、苛立つ女といふよりは、荒野に住む（食べる）ほうがまだました。

（箴言 21：19 参照）

彼は、更にもっと遠くへ行かねばなりません。3つ目があると思います。ちゃんと覚えていませんけど、こんな感じ、私は屋根に上がって、パンくずを食べるほうがいい。あなたと一緒にステーキを食べるより。あなたが争い好きなら、私は....私は上がって「屋根の上」に行きます。彼女がまだ、、、窓から、、、では、荒野に逃げます。そして、州を移動し、国境を超えて、他の国に行くかもしれません。わかりませんけど。それがなぜかわかりますか？

ちなみにこれが「聖餐」です。私たちの文化では完璧に失われました。それを西洋化され、衛生化され、完全に失われました。誰かと一緒に食事をするとき、それは縛であり、共通の結合です。その考えは、あなたの中にあるそのパンは、私の中にあるパンと同じ。あなたが飲むその杯は、私が飲む杯と同じ。私たちは1つだから。共通の結合。今、これに注目ください。あなたが誰かと食事をするとき、その人と生理的、靈的な結びつきを形成します。ですから、1993年、当時のクリントン大統領がホワイトハウスの芝生で、署名した時、悪名高いオスロ和平合意でしたね。当時ヤセル・アラファトとイツハク・ラビンは、握手しただけ。あれは何の意味もありません。誓約を交わし、契約を交わす方法を知っていますか？パンを裂き、共に食す。それが契約を成立させる方法です。契約書どころじゃありません。一緒に食事をすることは、一生の契約です。一生の。それが、合意、契約を結ぶ方法です。「私たちは今、ひとつ。」私たちは今、この共通の結合を持ち、「私たちはひとつ。」それが、中東、アラブ、私の人たちが、とても温かくもてなす理由です。なぜなら、遊牧文化だからです。長距離を長時間移動します。誰かがあなたを自分のテントに連れて行き、水と食べ物を与えてくれたら、あなたの命を救ったことになります。今、彼らはあなたに一生忠誠を誓います。誰かと一緒に座って食事をするとき、議論になれば、あなたはそれを壊すことになります。それが「箴言」の背景にある「理由」です。なるほど、一緒に食べるには縛を深めることで、とても大切です。これが最後のひとつで、締めくくります。

こう考えてください：私たちは共にいる、キリストにある兄弟姉妹、神の御言葉と共に味わう。私たちは共に食し、一緒に神の御言葉を食べることで、縛が出来ます。縛が生まれるのであります。わかります？

では、次は「マナ」の話です！お気に入りの1つです。すべてにそう言いますけど、私たちが「出エジプト記」を読む時、イスラエルの民、荒野での不思議です。神は天からマナを与えられましたマナはキリストの描写で、これは全く新しい次元の話です。

最後の4つ目、「父たちのためのマナ」に例える理由です。私はこの段階を、父たちのマナとして参照しています。なぜなら、ヨハネがこの3節で2回以上書くからです。ヨハネが、2回ともまったく同じことを、そっくりそのまま語るのに注目ください。ヨハネが語るのは何か？

## ー1ヨハネ 2:13ー

父たち。私があなたがたに書いているのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。

ヨハネがそれを2回言います。次にヨハネが語る時、それに変化させると思うでしょう。その問題について、幼子たちや、若者たちにも言及したように。しかし、しません。再度ヨハネは言います。冗長ですか？　いいえ、違います。

## ー1ヨハネ 2：13ー

父たち。私があなたがたに書いているのは、初めからおられる方を、あなたがたが知るようになったからです。

ここで、2つの単語に注目ください。「知る」と「はじめに」です。

「知る」はギリシャ語で ギノスコ/ginosko 私たちはよく話しますね。経験的な知識（経験知）という意味があります。ギリシャ語には、もうひとつ単語があり、直感的に分かるという直感的知識です。それではなく、これは経験的に知ることです。

私は知っている：私は経験している「知っている」は経験から生じ、結びつくのは、2つ目の単語「はじめから」「はじめから」「知っている」それは、タイムスタンプ（作成日時）です。言い換えると、父たち、私が語っているのは、私たちは一緒の歴史があるのです。私たちは、長い間、お互いを知り、経験してきました。父たち、他では得られない成熟度があります。近道はありません。時間が経つと、白髪になるか、髪がなくなるか、その両方です。それは経験と共に生じます。言い換えると、父たち、あなたがたの成熟度は、あなたがたが「知る」、「はじめから知っている」長年の経験知です。あなたたちには経験があります。その経験は、若者には知る=ギノスコ/ginosko ことができません。

これが、主にあって、父たちの成熟度で、主と共に長い時間をかけて主の経験知と一緒に生じます。

「マナ」について話しましょう。それで、締めくくります。その経験を通して何が面白いか？ ダジャレです。毎晩、彼らは眠らねばなりませんね。明日の食べ物を保存する冷蔵庫はありませんでした。翌朝、朝食を食べに行けるレストランが通り沿いにありません。食べ物はなく、翌日の食料が入った食糧棚もありません。彼らが食べたものは何か？　おお、彼らには神の御言葉がありました。神は、彼らに神の御言葉を与えられました。神は御言葉を破ることはお出来になりません。ですから、今や彼らは神の御言葉を信じねばなりませんでした。

「なあ、神が我々に約束された。神は私たちに神の御言葉を与えられた。明日の朝起きた時、飢え死にすることはない。明日の朝、起きるとマナがあるんだ。毎朝。それに頼れるんだ。」

(直訳：銀行に持つていいます) 実際、最近銀行は頼れません。何も銀行には持つていかないでください。実際、全て銀行から出した方がいいかも。わかりませんけど。財政アドバイスではありません。皆さん、いやいや。でも、信じるしかありませんでした。その信頼と共に、知る必要がありました。あなたは知らねばなりません。すでに経験しています。毎朝欠かさず、マナはそこにありました。それが成熟です。それが神の御言葉であるマナです。肉とは違います。違います。ちなみに、その研究が行われました。とても素晴らしいです...実際、マナは契約の箱に入れられました。ご存知ですね、アロンの杖と十戒の石板一緒に、おお、なんてかっこいいんだろう。マナもです。おお、マナって何？ それが、マナです。「マナ」の意味をご存知ですか？「それは何？」いえ、マジです。真面目にです。それがその意味です。

「それは何？」=「マナ」「マナ」の意味は？→「それは何？」です。 一（笑）一  
やり過ぎです？ いや、実はそれには理由があります。それは何？ あなたが必要なものは何でも、それが「マナ/それは何？」です。神はいつも与えられました。成熟した父たちは、神はご自身の御言葉に忠実であられるのを経験知から知っています。神が「明日の朝」は新鮮なマナがあると仰ったら、それは「明日の朝」で、私は今夜は眠れます。今夜は本当に眠れます。明日の朝は何を食べようかと、寝返りを打つこともありません。マナを食べるのです。マナ/それは何？ いやいや。もうしません。もう十分。主よ、それで十分ですね？ どうやって眠れるの？ だって私は知っているから。私は知っています。神が私に御言葉を与えられました。（いびき音）また眠れます。良い意味でだけ。なぜなら、私は知っています。私が誰に信頼を置くかを。そこにあります。もう一步踏み込んでもいいですか？ もちろん、ですね？  
もう少しで終わります。希望があります。彼らが何をしたかご存知ですね？ 彼らに厳しくしないでください。私たちも全く同じことをするでしょうから。私たちは大きな間違いをすると思います。特にイスラエルの民について読むと、

「あのイスラエルの民、あの恩知らずのイスラエルの民か！ 不平不満、つぶやき！」  
頼みますよ。あなたは私のすぐ後ろの最前列でしたよ。ええ、私は最前列です。私たちは皆、自分を最も有利に見せれます。私たちはずっと文句をこう言い続けているかもしれません。

「あなたが私たちを連れてたのは、エジプトには十分な墓がなかったのですか？ 私たちを殺すためにここに連れてこられたのですか？ 埋葬するのにもっと場所があるから？なんなんだ？」（出エジプト 14:11 参照）

ちょっと大げさだったかも。今、彼らはこうしているんです。で、朝起きると、、、前の晩は寝てなかったと思います。こんな感じで、

「待って、待って。おお、そこにある！」「ほ～！まさか！」「間違いない、ほ～！」彼らは地元民（ハワイ）だから。（ほ～！が口癖） 一（笑）一

「念のため、多めに取ったほうがいい。ちょっと、念のため、明日や明後日、無かつたら困るから。今日ここにあるけど。分からなから。」

「じゃあ、そうしよう。」どうなったかご存知ですね？ 彼らは神を信頼しませんでした。彼らには人格の強さがありませんでした。靈的成熟度、神との経験知、明日の朝にマナがそこにあると知ることが。私は、明日の朝のために余分に取る必要はありません。やってみるなら、マナ・バーガーの代わりにマゴット（ウジ虫）バーガーか、マニコッティです。そのほうがいいなら。一(笑)一

もう一步踏み込みます。何が起こるかご存知ですね？ 毎日、来る日も来る日も、マナ、マナ、マナ…「メニューは何？」「マナ。マナ。」「水曜日は？」「マナ。」「木曜日は？」  
「マナ。」「金曜日は？」「マナ。」「来週は？」「マナ。」

「また？ 変えれないんですか？ 他のメニューはないんですか？」「ありません。メニュー：マナ。以上。」それで、起こったことは、「入り混じって来た多くの異邦人」、彼らが誰かご存知ですか？ 彼らは、イスラエルの民をエジプトから出した、エジプト人です。まあ、彼らは小さな囁き運動を始めました。ここには、学ぶべき教訓がありますよ。もう誰とも顔を合わせないように、指を差さないように。この説教壇を指差します。でも、それが始まり方で伝染します。あなた……たった一人が、囁き運動を始め、神に対してつぶやくだけですよ。おお、ごめんなさい。あそこを指差してしまいました。OK。それなら、こっちを指差します。あなたは神に対して、不平を言うのではなく、御言葉を与えられた神に不信感を抱く。あなたは成熟していません。あなたは神との経験知がありません。つまり、あなたは実際に神の善に対して文句やつぶやきを言います。

「私はもうマナはいりません。飽きました。」ちょっと待って。このマナは、、、聖書学者たちが学んだことはつまり、あなたが望んだものです。あなたのお気に入りについて考えてください。いいですか？ あなたはそれをチーズケーキにする？ ボン！ 3段ベーコンバーガー？ ボン！ プライムリブステーキ？ ボン！ フレンチバニラアイスクリーム。バニラじゃなく、フレンチバニラ。ボン！ いいえ、真面目です。それが「それは何？」です。あなたが欲しいもの何でもいいんです。これが奇跡的な天からのマナです。再度、満足させるイエス・キリストの描写です。あなたの必要なのは、マナ=イエス・キリストだけです。

マナは身体的栄養素や栄養がありました。彼らは荒野で物理的に必要なものすべてを手に入れました。「物足りない。スパイスを効かせよう。」彼らは食べるための肉が欲しいから、運動を始めました。プラカードを出し、彼らは行進しました。100万人規模のデモ行進でした。はい、たくさんいます。「肉が食べたい！」マナは、円形に線が通っています。想像してください。一 (笑) 一

わかりませんけど、それが私の考えです。OK。もう少しで終わります。ポイントで締めます。きっと深い味わいになるはずです。約束します。

神はこんな風に、「OK。聞いてください。あなたにわたし自身を押し付けるつもりはありません。わたしは必要なものはすべて用意しましたが、どうやらあなたはもっと欲しいようですね。あなたは肉が食べたいのですね。それは肉欲です。それは靈的成熟ではありません。」チリコンカルネの缶詰を買いに行くと、、、皆さんの一生分のチリを台無しにするでしょうけど、このことを知らず一生を終えられたでしょうから。チリコンカルネは肉入りチリ、肉欲という意味です。チリコンカルネを買うと罪になります。あなたは肉を買うことになります。肉です、肉です。しかし、彼らが本当に言っていたのは「私たちは肉が欲しい！」肉が欲しい？ マナは聖霊です。肉は肉です。

「分かりました。あなたがたは肉が欲しいのですね。どうぞ。」神は彼らにウズラを送られます。再度、あまり生々しいことは言いません。もうランチを台無しにしましたけど、でも、どうなったかはご存知ですね？神はウズラを豊富に送ってくださいます。彼らは文字通り肉を死ぬまで食べました。そして、死にました。まだ歯の間に挟まっている間に。そう、あなたはマナがあればいいのです。私は...私は...マナをいくつかいただきます。マナを注文します。サイドオーダーでもマナを。おお、明日までない？ OK。注文だけ。じゃ、取りにきます。マナの大きさは中？大？小？ いいえ、必要なだけでいいです。私はいただきますよ。さあ、マナです。私は今、マナが欲しいです。それが欲しい全てです。良いです。良いですね。こんなに美味しいのは生まれて初めてです。それは経験や成熟に伴います。成熟は肉欲の対極です。おお、神に願わくは、私たちがこのように言われる人たちの中に入れますように。

「彼らは、神の成熟した男性女性だ。彼らは肉欲/世俗的ではなく、靈的です。この人たちが手に入れたマナを見るべきです。私はそのようになりたいです。私は主との関係を持ちたいです。」

私にはわかります。それは望みではありません。違います。わかります。

「どうしてわかるのですか？」 「おお、わかります。」 わかりますか？

「はい、わかります。主が主の御言葉をくださいました。神が神の御言葉をくださいました。」

カポノ、上がってください。ご起立ください。祈りで締めくくります。主よ、最善を尽くしました。これは非常に興味深い聖書の箇所です。今、私たちの中にもとても飢えた人がいると思います。昼食を抜く人もいますが...(笑)

**一マタイ 4:4**

**人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる。**

おお、神よ。あなたの御言葉を食べる者となるよう祈ります。あなたの御言葉を生き、あなたの御言葉が私たちの中で生きられ、私たちはその中で生きますように。それが私たちの中に留まり、私たちがその中で留まりますように。主よ、御力をありがとうございます。あなたの御言葉によってもたらされる御力です。祈りをありがとうございます。祈りとあなたの御言葉がないと、私たちはどうするのでしょうか？ 私たちはどうするのでしょうか？

主よ、あなたの御言葉に感謝し、祈りに感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリー・チャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7